

現行計画の進捗状況評価

<p>介護予防・生きがい・健康づくり・就労促進</p> <p>☑2018年4月に介護予防・日常生活支援総合事業へ完全移行し、「町トレ」をはじめとした地域介護予防自主グループの活動が充実。 →課題:地域介護予防自主グループ等の活動継続支援。</p>
<p>地域ネットワークの充実</p> <p>☑地域ケア会議運営ガイドラインに沿った地域ケア会議の体制を構築。 →課題:地域ケア会議の質の向上による課題解決機能の強化。</p> <p>☑風水害・感染症対策について、市内介護保険事業所と連携して対応。 →課題:災害時等の市内介護保険事業所等との連携や要配慮者支援の一層の強化。</p>
<p>日常生活支援</p> <p>☑介護予防ケアマネジメントに関する地域ケア個別会議の実施体制を構築。 →課題:多様な地域資源と連携した支援体制の充実。</p>
<p>認知症支援</p> <p>☑普及啓発イベント等を通して、市民や事業者と認知症への理解を深めるためのビジョンを共有。認知症サポーター養成や認知症カフェ開催等を通じ、認知症の人やその家族の居場所づくりを推進。 →課題:認知症の人やその家族の視点を重視した取組の一層の強化。</p>
<p>医療・介護連携</p> <p>☑「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト」を通して医療・介護をはじめとした多職種の連携を推進。新たに在宅医療・介護連携機能強化型地域包括支援センターを設置。 →課題:町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトを通じた、医療と介護の更なる連携強化。</p>
<p>家族介護者支援・権利擁護</p> <p>☑家族介護者教室・交流会等を通して、家族介護者の支援を推進。 →課題:家族介護者の負担軽減に向けた家族介護者支援の一層の充実。</p> <p>☑成年後見制度への支援や高齢者の虐待防止に関する普及啓発等を推進。 →課題:虐待につながる課題を抱える高齢者の早期発見及び対応強化。</p>
<p>基盤整備と住まいの選択肢の充実</p> <p>☑地域密着型サービスの整備促進。 →課題:地域の実情に応じた整備計画の策定と事業者の参入促進。</p>
<p>介護保険サービスの質の向上・適正化</p> <p>☑介護人材の確保・育成・定着支援のため、アクティブシニアの介護保険事業所への就労支援等の多様な担い手の創出に向けた取組等を推進。 →課題:介護人材の確保・育成・定着支援のため、介護保険事業所にとって有用性・利便性に優れたプログラムを重点的に展開。</p>

※ 現行計画(町田市高齢者福祉計画及び第7期町田市介護保険事業計画)の施策体系の整理については、別紙参照

各種調査等の分析結果

- 生活支援・介護予防
 - ・要介護1~5の方を除く高齢者の要支援・要介護リスク者の割合は52.3%で、75歳以降に高まる傾向。
 - ・要介護1~5の方を除く高齢者については、「趣味の会」(30.9%)や「スポーツの会」(23.9%)の参加率が高い。年齢別にみると、「通いの場」は年齢が高いほど参加率が高い傾向がある。
- 認知症支援
 - ・要介護1~5の方を除く高齢者の認知機能低下者の割合は36.7%で、年齢別にみると85歳以上では約5割。
 - ・要介護1~5の方を除く高齢者の52.3%が、自分が認知症になったら、周りの人に助けをもらいながら自宅での生活を続けたいと感じている。
- 医療・介護連携
 - ・要介護1~5の方の約3割は訪問診療(訪問看護含む)を利用。一方、約4割は在宅療養を「希望するが実現は難しいと思う」と回答。また、約6割の介護保険事業所が「かかりつけ医、病院等との緊急時の連絡体制の整備」を課題と認識。
- 家族介護者支援
 - ・要介護1~5の方の約6割が、在宅療養における「家族の負担」について不安を感じている。
 - ・主な介護者が不安を感じる介護について、「認知症状への対応」は29.2%と高い。
 - ・訪問系サービスを利用していない方の主な介護者は、就業継続が困難な傾向が強い。
- 介護サービスの充実・整備
 - ・介護保険事業所からは、夜間対応型訪問介護(31.8%)や定期巡回・随時対応型訪問介護看護(24.9%)など、訪問系サービスが「不足している」との回答が多い。一方、居宅介護支援事業所からは、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「紹介したが利用に至らなかった」(29.6%)との声も多い。
- 介護人材の確保・育成・就労継続支援
 - ・介護職員離職率は18.8%で改善傾向にあるが依然厳しい。特に訪問系サービスは非正規職員の割合が68.7%と高く、34.9%の事業所が職員を「確保することが難しい」と回答。

地域ケア会議等からの抽出課題

- 軽度の支援を必要とする高齢者の増加が見込まれることから、多様な生活支援を提供できる体制づくりが必要となる。
 - 元気な高齢者が心身の状況を維持・改善できるような環境づくりの推進が求められる。
- <課題に対する主な解決策>
- 介護予防や生活支援等のボランティア育成
 - 介護予防事業と保健事業の連携

国等からの方針・法改正等

- 2025・2040年を見据えたサービス・人的基盤の整備
 - ・2025年・2040年のサービス需要の見込みを踏まえ、基盤整備や人材確保等の施策を展開
- 地域共生社会の実現
 - ・地域共生社会の実現に向けた取組を推進
- 介護予防・健康づくり施策の充実・推進
 - ・PDCAサイクルに沿った推進にあたり、データの利活用を促進、またそのための環境を整備
- 高齢者住宅等に係る都道府県・市町村間の情報連携強化
 - ・有料老人ホーム及びサービス付高齢者向け住宅の設置状況を勘案し整備計画を策定等
- 認知症施策推進大綱等を踏まえた認知症施策の推進
 - ・「共生」と「予防」を車の両輪とした認知症施策の推進等
- 介護人材確保及び業務効率化の取組の強化
 - ・介護分野で働く専門職の確保、介護現場における業務仕訳、ICTの活用、元気高齢者参入による業務改善等

次期計画の施策体系 (案)

基本目標

基本施策

主な取組

I 地域とつながり、いきいきと暮らしている

1 地域活躍と生きがい・健康づくりの推進

重点候補:介護予防・健康づくりのための通いの場の充実

- ・介護予防と健康づくりの一体的な推進
- ・地域介護予防自主グループと互近助クラブの支援等

【その他の主な取組】老人クラブ活動の支援、介護予防サポーターの養成、いきいきポイント制度の普及等

2 地域ネットワークの充実

重点候補:高齢者支援センターのネットワーク機能の強化

- ・高齢者支援センターと関係機関との連携強化
- ・地域ケア会議による地域課題の集約・解決等

【その他の主な取組】高齢者見守り支援ネットワークの普及、事業者による見守り、介護保険事業所等との災害時の連携強化等

II 支援が必要になっても、支え合いにより住み慣れた地域で生活できている

3 日常生活支援の推進

重点候補:自立支援・重度化防止に向けた取組の推進

- ・介護予防ケアマネジメント
- ・短期集中型サービス等

【その他の主な取組】自立支援・配食ネットワークの実施、寝具乾燥消毒事業の実施、在宅訪問理美容券の交付等

4 認知症の人にやさしい地域づくりの推進

重点候補:認知症の人やその家族の視点を重視した地域づくりの推進

- ・認知症の人やその家族の居場所づくり
- ・認知症サポーターの養成等

【その他の主な取組】認知症相談支援、認知症の早期受診支援等

5 在宅療養を支える医療・介護連携の推進

重点候補:多職種による在宅医療・介護連携の推進

- ・町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクトの推進
- ・在宅医療・介護連携機能強化型地域包括支援センターによる医療・介護連携の推進

6 家族介護者の支援と高齢者の権利擁護

【主な取組】家族介護者教室・交流会の開催、市民向け基礎介護技術講習会の開催、成年後見制度の利用支援、高齢者虐待の防止、市民後見人制度の利用支援等

III よりよい介護サービスを安心して利用し続けることができる

7 住まいの選択肢の充実とサービス基盤・人的基盤の整備

重点候補:介護人材の確保・育成・定着

- ・介護人材の育成及び定着支援の強化
- ・多様な介護の担い手の地域活躍推進等

【その他の主な取組】在宅生活を支える地域密着型サービスの整備促進、居住支援協議会による高齢者の居住支援、高齢者の住宅設備改修の支援等

8 介護保険サービスの効率的な提供と品質向上

重点候補:効率的な介護保険サービス提供の推進

- ・要介護認定事務の効率化
- ・指定申請・指導監査に関する文書負担の軽減等

【その他の主な取組】介護保険サービスの適正化事業の推進、介護保険事業者への指導・助言、要介護度改善に伴うインセンティブ事業の実施、介護相談員の派遣等

